

事務事業調書

平成27年度

事業No	731	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	文化活動団体支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 2 団体及び人材の育成			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-25			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-3			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	H 1 6 . 1 2 . 定例会公の施設の指定管理者としての文化協会は、提案としてお聞きしました。							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直 営		委 託 先						
実施期間	開 始	平成15年度		経 過	12年目	終 了		期 間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		文化活動団体及び個人が			~になる		文化協会に加盟、発表の機会を設け、交流を深めます。	
事務事業の内容	文化活動団体の活動を支援するために、文化協会に文化協会育成事業補助金を交付します。								
改善・対策の履歴	近年文化協会の会員数が減少傾向にあります。平成25年度には文化協会より市に対し補助金増額等の要望書なども提出されました。26年度は文化協会役員の方と文化協会の今後の方向性を模索するための会合を開き、どのように取り組むべきかを検討し、27年度からは、芸術祭の安美展以外の事業（芸能まつり・文芸、技芸、趣味の集い・文芸まつり）について文化協会に委託することとしました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,330	3,590	2,960	2,960	2,960
財源計	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,700	1,700	1,700	1,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	1,890 (0.30)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支出事務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費 (千円)	2,330	3,590	2,960	
			活動にかかるコスト (千円)	2,330.00	3,590.00	2,960.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	87.00	87.00	88.00	83.00
	文化協会加盟団体数(団体)			実績	85.00	87.00	83.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	88.00	達成状況	未達成	達成	未達成
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	会報発行、明治川発行、文化賞等の表彰など、発表以外の文化活動も推進しました。平成24年度より砺波市との文化交流事業に取り組み、芸能、文芸、美術の交流会を通し、両市民の文化振興に貢献することができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成25年度から平成26年度の加入団体数は4団体減で83団体となり、会員数は全体に毎年減少傾向にあります。文化協会としては補助金以外に会員より会費を徴収し運営しているため、運営費の捻出などを検討しています。文化協会が芸術祭の委託を受けることにより自主的な運営や人件費などのコストダウンを図ることができます。
成果	文協祭、文人展、文化講演会、県民茶会等を開催し、会員に発表の場を提供しました。一方、加入団体を増やすための新たな方法や、取り組みも必要かと思われます。 平成24年度に文化協会は、財政、組織、事業の検討委員会を設置し検討され、25年度には会費部分等改善され実施され、27年度は芸術祭(安美展以外)を文化協会が委託を受ける形で進展しました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
引き続き、市主催事業への参加団体、及び市内各公民館で活動する団体に向け、文化協会への加盟を働きかけていきます。高齢化する社会の中で、会員数の減少する文化協会の生き方も再度検討しながら、方向性を考えていきます。市と共催で進める市民芸術祭の委託が決まり、これまで以上の参加者や文化協会としての主体性をより発揮していただきたい。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	本事業は、文化活動団体の支援を目的とした事業です。文化協会所属の団体を支援することにより、市民性のある文化活動を推進し、地域の発展に寄与する、市が実施すべき事業であると考えます。22年度においては、文協祭、会報発行、文化賞等の表彰、明治川発行、文人展、文化講演会、愛知県民茶会等を行い、24年、25年度には砺波市との文化交流事業も行いました。27年度は市民芸術祭(安美展以外)の委託が決まり、より文化協会としての利点を発揮し、市民の芸術文化の発展を推進していただきたい。

事務事業調書

平成27年度

事業No	732	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	市民ギャラリー美術品購入事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 1 事業の充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-25			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策		4-4-1-2-1			
				性質区分	市の内部事務事業				
根拠法令	有	安城市附属機関の設置に関する条例							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	昭和57年度		経過	33年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		地元作家の貴重な作品を鑑賞できます。	
事務事業の内容	安城市が所有するにふさわしい貴重な美術作品を調査研究し購入を進めます。平成26年度までに221点の美術作品を購入しました。								
改善・対策の履歴	平成21年度から美術品購入検討委員会から、美術品等収蔵委員会として施行し、寄贈作品を含めた検討をする委員会となりました。26年度から安城市附属機関として条例改正され、26年度も質の良い寄贈購入作品が、検討されました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,682	3,405	3,669	2,981	3,736
財源計	1,737	2,460	3,039	2,351	3,106
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,737	3,039	2,351	3,106
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	945 (0.15)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	地元物故作家の作品	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	10.00	
	指標名 (単位)	購入作品数(点)	活動の総事業費(千円)	0	0	1,811	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	181.10	
活動2	活動名 (活動内容)	現在活躍する地元美術作家の作品	見込	2.00	2.00	2.00	1.00
			実績	3.00	3.00	1.00	
	指標名 (単位)	購入作品数(点)	活動の総事業費(千円)	1,839	2,596	263	
			活動にかかるコスト(千円)	613.00	865.33	263.00	
活動3	活動名 (活動内容)	美術品購入検討委員会	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	194	390	257	
			活動にかかるコスト(千円)	97.00	195.00	128.50	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	展示作品点数(点)			目標	24.00	40.00	40.00	40.00
				実績	58.00	55.00	42.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	観覧者数(人)			目標	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00
				実績	2,083.00	3,825.00	3,200.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	平成21年度は、美術品等収蔵委員会となり、寄贈作品の選定も行われ収蔵の方向性がはっきりしてきたと思われます。23年度に寄贈受けた作品に（一部額装済）修復すべき作品2点の内1点は25年度に修復が完了し、もう1点も26年度修復が完了しました。27年度はこれらの作品の展示を計画しています。今後も地元作家を掘り下げ、作品を調査し、購入、寄贈など検討します。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	26年度は、コレクションをしていた料亭の移転により、地元や地元作家に関係する作家の作品を購入、寄贈を受けることができました。また、画廊からの情報により、県内の著名な作家で安城の作家も影響を受けた作家の作品を購入、寄贈を受けることができました。 また、市内の物故作家の遺族からの寄贈もありました。
成果	収蔵委員会による価格査定を経て、公正妥当な購入価格を担保しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
平成21年度から、美術品等収蔵委員会として施行し、収蔵スペースを考慮し、寄贈作品を含めた検討をしていきます。近年、戦後団体を創設してきた作家が、亡くなり寄贈等の話も出てきています。歴史背景や作家との関わりなど様々な角度から、今後も市にとって購入又は寄贈にふさわしい作品を検討いただきます。これらの作品を展示に活用し、多くのみなさまに興味を持って鑑賞していただける企画展を開催していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市にとって重要な美術作品を購入していきます。また寄贈面においても同時に委員会で検討いただき、安城市の市民ギャラリーの収蔵にふさわしい作品を検討します。安城の美術を支えてきた、市にゆかりのある物故作家をはじめ、奨励的意味を含め現在活躍する美術作家の作品を収集し、市民に広く紹介し、美術文化の充実に務めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	733	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	野村 榮
						決裁者	牧 浩之
事務事業名	市民芸術鑑賞会事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 2 鑑賞・観覧機会の充実 1 鑑賞・観覧機会の充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-25			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策					
				性質区分	市の内部事務事業				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	一部委託	委託先	民間企業						
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	芸術文化に興味をもつ市民が			～になる	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることができます。			
事務事業の内容	古典芸能や伝統芸能などの鑑賞会を開催します。								
改善・対策の履歴	【平成26年度】東日本大震災の復興を継続させるため、東北岩手県に古くから伝わる市指定の無形民俗文化財にもなっており、地域で毎年盛んに披露されている、「鬼剣舞（おにけんぱい）」・「鹿踊（ししおどり）」を公演として実施します。 【平成27年度】日本の古来から伝わる伝統芸の「歌舞伎」を、鑑賞しやすい内容として初めての方にも分かりやすく、歌舞伎独特の立ち回り体験や解説を交えた参加型の公演として、低料金で鑑賞の機会を提供します。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,486	2,217	3,856	4,237	3,862
財源計	7,911	327	1,966	2,347	1,972
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	2,810	803	168	803
	一般財源	5,101	1,163	2,179	1,169
受益者負担金	2,810	210	803	168	803
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	市民芸術鑑賞会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費 (千円)	8,542	1,182	3,139	
			活動にかかるコスト (千円)	8,542.00	1,182.00	3,139.00	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	啓発方法(種類)	活動の総事業費 (千円)	945	1,035	1,098	
			活動にかかるコスト (千円)	945.00	1,035.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	()	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	チケットの販売枚数(枚)			目標	960.00	499.00	450.00	426.00
				実績	928.00	244.00	173.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2	アンケートによる満足度(%)			目標	85.00	85.00	85.00	85.00
				実績	92.00	97.00	75.20	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	毎年、ジャンルの違った公演を選定しているため、比較しにくい結果となっていますが、来場いただいた方のほとんどは、安城ではなかなか見ることのできない舞台芸能である、東北岩手の「鬼剣舞(おにけんぱい)」・「鹿踊り(ししおどり)」そして、地元「桜井棒の手」を披露できたことは、大変有意義で、東日本大震災の想いを思い返す、きっかけとなりました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	桜井地区を中心として、販売促進を進めましたが、公演当日に同地区の町内行事があったり、県主催の「民俗芸能大会」が開催されるなど、関心の高まりには至らず、良質なものであっても興味を引かないのが、現実でした。
成果	民俗芸能への関心をもつ方が少なく、いまひとつ市民の皆さんに東北の伝統文化の良さや、「桜井棒の手」の魅力を伝えることができず、残念でした。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・今後の事業実施においては、アンケート等による要望も充分に取り入れながら検討していきます。 ・伝統芸能分野の公演を開催を検討する際は、文化協会・地元関係者と協力して事業の推進を図り、多くの市民に鑑賞してもらえるように努力します。今後も国補助、公益法人による助成事業など、他に財源や公演現物の提供を求めていく工夫を継続します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民の関心も高く、地域の伝統芸能などにスポットを当てた公演を取り入れ、ジャンルに偏りが無いよう計画的に実施します。 また、啓発方法を検討し、チケット販売の促進を図り、集客増につなげジャンルを越えて多くの方に興味を持っていただけるような、公演の選定、実施を心がけます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	734	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	野村 榮
						決裁者	牧 浩之
事務事業名	市民芸術祭事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 1 事業の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-25	
				総合計画以外の計画			
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-2, 4-4-1-1-3	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	H13. 2月. 定例会子供芸術祭について研究します。					
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営		委託先				
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	文化・芸術活動を行う文化協会加盟団体や自主グループ、市民が			~になる	積極的に発表できる機会を得ることができます。	
事務事業の内容	・市民文芸まつりー市民よりハガキ公募、学校単位に小中学生からの作品提出、入賞者を選び発表大会を開催します。 ・文芸・技芸・趣味の集いー文化協会加盟団体・自主グループに発表・作品展示の場を提供します。 ・市民芸能まつりー文化協会加盟団体・自主グループに発表の場を提供します。 平成27年度より、文化協会へ事務を委託しました。						
改善・対策の履歴	文芸まつりの審査員交替においては、事前に他の審査員からの情報などをもとに学校教育にも配慮した信頼の置ける審査員の選定を行います。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,826	5,929	5,031	4,713	6,294
財源計	1,361	1,519	1,881	1,563	3,144
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,361	1,881	1,563	3,144
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,465 (0.55)	4,410 (0.70)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	市民文芸まつり	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催日数(一式)(回)	活動の総事業費(千円)	2,858	2,725	2,244	
			活動にかかるコスト(千円)	2,858.00	2,725.00	2,244.00	
活動2	活動名 (活動内容)	市民芸能まつり	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催日数(一式)(回)	活動の総事業費(千円)	1,081	1,986	1,673	
			活動にかかるコスト(千円)	1,081.00	1,986.00	1,673.00	
活動3	活動名 (活動内容)	文芸・技芸・趣味の集い	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催日数(一式)(回)	活動の総事業費(千円)	887	1,218	796	
			活動にかかるコスト(千円)	887.00	1,218.00	796.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	文芸・技芸・趣味の集い芸能まつり参加団体数(団体)			目標	60.00	60.00	60.00	60.00
				実績	66.00	60.00	60.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	・小中学生や一般の方への文芸まつりの作品募集によって、俳句・短歌に関心を持つきっかけとなっています。 ・市民芸術祭に参加するグループの交流が図られ、相互が刺激を受けて活発な活動に結びついています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・文芸まつりの優秀な作品には賞状を付与して、意欲的な作品応募となっています。(短歌・学生の入賞者数を増やしました) ・芸能まつりでは、出演団体で受付・会場整理・連絡係を賄っており、相互協力によって経費の節減に努めています。 ・文芸・技芸・趣味の集いの参加団体で希望があれば賞状を付与しており、会員の励みとなり団体発展に寄与しています。
成果	・文芸まつりは、校長会で依頼したところ、小中学生の応募数が大幅に増えました。インターネットによる応募受け付けも実施しています。 ・市民芸能まつりや文芸・技芸・趣味の集いでは、参加グループの情報交換やグループ間の連携・交流が図られました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・文芸まつりに関しては、小中学校への俳句・短歌普及のため講師派遣を今後も行うとともに、一般の部での俳句・短歌の応募を増やす方を考えていきます。 ・文芸・技芸・趣味の集いや市民芸能まつりでは、各方面へのチラシの配布やロコミを通じて、集客増加になるように努めます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・現在の参加者・団体だけでなく、新しい団体やグループの活動・発表の場として、今後も開催継続していきます。 ・文芸まつりは小中学校へ講師を派遣して、応募数の確保に努めています。 ・文芸・技芸・趣味の集い、芸能まつりは鑑賞者を増やすよう啓発方法等の検討をしていきます。 ・3つの事業を文化協会に委託することにより、活性化を図り事業が活発化していくよう展開して行きます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	735	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	野村 榮
						決裁者	牧 浩之
事務事業名	市民演劇祭事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 1 事業の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-25		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-2, 4-4-1-1-3		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先	(演劇活動を行う自主グループ)					
実施期間	開始	昭和56年度	経過	34年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	演劇に親しむ市民グループが			~になる	日ごろの練習成果を発表する場を得ることができます。		
事務事業の内容	演劇活動を自主的に行うグループから参加を募り、演劇の発表会を開催します。 演劇祭の運営については、実行委員会を組織して、参加者が自主的に行ないます。							
改善・対策の履歴	毎年演劇祭に出演する団体が発表するだけでなく、PRなど様々な側面から、市民の方々に来場いただけるような工夫を提案しながら進めています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,523	3,121	2,500	2,508	2,500
財源計	578	601	610	618	610
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	578	610	618	610
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	2,520 (0.40)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	演劇祭の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,533	3,121	2,508	
			活動にかかるコスト (千円)	1,533.00	3,121.00	2,508.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	参加団体(団体)			目標	6.00	8.00	8.00	8.00
				実績	9.00	9.00	9.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	入場者数(H23年度より実人数)(人)			目標	400.00	450.00	450.00	450.00
				実績	518.00	455.00	558.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	市や学校関係のイベントやワークショップを自主的におこなうグループも参加するようになってきました。 演劇団体の相互交流や情報交換の場となっています
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	ポスター(チラシ)のデザインを参加者が作成しており、魅力ある出来栄えとなって好評を得ています。 開催日数を2日間での実施(前回は1日)としたが、観る側(観客)にとっては、2日ともゆっくり鑑賞できたとの声も聞かれました。
成果	団体相互の協力のもと、実行委員会中心とした自主的運営が定着しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
出演団体の協力を得て、より質の高い演劇公演となるようバックアップして行くよう努力します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	毎年恒例事業として、演ずる側・観る側ともにリピータも多いので、今後も継続して行きます。 演劇団体の発表の場として、出演団体の自主性を持って運営していけるようにして行きます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	761	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	野村 榮
						決裁者	牧 浩之
事務事業名	市民公募文化事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 1 事業の充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-25		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-3		
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	H 1 8 . 3 月 . 定例会 H 1 8 年度から開始します（事業概要を説明）。						
陳情・市民要望	有	市民要望 H 1 5 に市民会議市民会館自主事業の公募採用						
実施方法	全部委託	委託先	その他(市民公募文化事業実施要領に該当する者)					
実施期間	開始	平成18年度	経過	9年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	文化活動団体及び個人が			~になる	企画した文化事業を自らの力で公演できます。		
事務事業の内容	ホールで行う文化事業を委託することにより、文化活動団体の育成と観賞機会の充実を図ります。							
改善・対策の履歴	会場別の委託金額の変更など、事業の利用者に配慮しながら申請者の増加を図りながら検討を進めています。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,890	2,890	2,760	2,360	2,821
財源計	1,000	1,000	1,500	1,100	1,561
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,000	1,000	1,100	1,561
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	文化事業の委託	見込	5.00	5.00	5.00	0.00
			実績	5.00	4.00	6.00	
	指標名 (単位)	事業委託(件)	活動の総事業費(千円)	2,445	1,945	1,730	
			活動にかかるコスト(千円)	489.00	486.25	288.33	
活動2	活動名 (活動内容)	事業の啓発	見込	3.00	3.00	3.00	0.00
			実績	3.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	啓発(回)	活動の総事業費(千円)	945	945	630	
			活動にかかるコスト(千円)	315.00	945.00	630.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	()	活動の総事業費(千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公演の実施回数(回)			目標	5.00	5.00	5.00	5.00
				実績	5.00	4.00	6.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	
成果2	実施団体件数(件)			目標	5.00	5.00	5.00	5.00
				実績	7.00	6.00	5.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	・委託団体のニーズに合った公演会場（サルピア・マツパホール）を提供できました。 ・市民に多彩なジャンルの舞台芸術を鑑賞していただける機会を提供できました。 ・会場別に委託金額を変更、募集・審査を一括で行うなど、募集案内の見直しに合わせて個別に啓発を行った結果、応募件数を増やすことができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・委託した公演は、集客性も高く、出演・来場者ともに満足していただける内容でした。
成果	・今回は実施件数が減少しましたが、今後も応募件数も含めて増加するよう、啓発方法や実施団体へのバックアップを考え、事務を進めます。 ・募集年度と公演実施年度が一致しないため、公演会場の確保については文化センター・市民会館（今後指定管理へ移行あり）協力が不可欠となります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・申請件数の増加を目指して、幅広い啓発や会場確保の協力が必要と思われます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・募集については、啓発方法を工夫しながら応募件数の増加を目指します。 ・より多くの公演を実施することにより、一人でも多くの市民に鑑賞してもらえるように、出演団体と連携して、公演の啓発を進めます。 ・市民会館運営員委員会が廃止となり、舞台芸術団体、市民団体や公募より、公募文化事業の審査員を推薦・選定により決定しました。（6名）

事務事業調書

平成27年度

事業No	736	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	岩井友哉
						決裁者	牧浩之
事務事業名	安美展事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 1 事業の充実			予算科目(会計)		一般会計						
				予算科目(款・項・目)		50-25-25						
				総合計画以外の計画								
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-3						
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの							
根拠法令	無											
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直営		委託先									
実施期間	開始	昭和21年度		経過	69年目		終了			期間		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		芸術に親しむ市民が			~になる		文化・芸術活動に参加する機会を得ることができます。				
事務事業の内容	日本画、洋画、書、写真、工芸・彫塑の5部門について、公募により美術展を開催しています。											
改善・対策の履歴	22年度より部門別開催を検討し、また新規の審査員を増員するなど23年度は、大きく展示形態を変更しました。24年度は展示室の有効利用を考慮しながらの23年度と前期後期の部門を入れ替えて開催しました。26年度から申込方法を持参郵送だけでなく、電子申請、FAXによる申込を受付できるようにしました。											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,686	8,759	8,464	6,985	8,590
財源計	3,796	3,719	5,314	3,835	5,440
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,796	3,719	5,314	3,835
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	5,040 (0.80)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	安美展開催	見込	17.00	17.00	19.00	0.00
			実績	17.00	18.00	19.00	
	指標名 (単位)	開催日数(日)	活動の総事業費 (千円)	4,580	7,812	6,289	
			活動にかかるコスト (千円)	269.41	434.00	331.00	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発活動	見込	425.00	425.00	425.00	425.00
			実績	425.00	425.00	425.00	
	指標名 (単位)	啓発団体(団体)	活動の総事業費 (千円)	314	500	237	
			活動にかかるコスト (千円)	0.74	1.18	0.56	
活動3	活動名 (活動内容)	運営委員会の開催	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	477	447	459	
			活動にかかるコスト (千円)	159.00	149.00	153.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	安美展出品点数(点)			目標	500.00	500.00	500.00	431.00
				実績	479.00	451.00	431.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2	安美展来場者数(人)			目標	4,500.00	4,500.00	4,300.00	4,300.00
				実績	4,313.00	4,162.00	4,226.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	公募展としての意識をもち、平成15年より入落選を設け、全体の水準は向上しました。一方、審査に対する不満なども寄せられましたが、安美展のレベルアップや位置付けを考え、運営委員会では細部に渡り意見を交わし、模索しながら良い方向へと進めてきました。24年度以降も引き続き部門別開催を行い、アンケートでもある程度良い評価をいただきました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	PRについては、市内美術団体、市内外公共施設、美術系大学など要項を配布しています。19年度以降は、芸術界全体のポスターの中に安美展を入れてPRしています。低コストで良い環境の展示を心がけていきます。搬入出には、最低限の職員で対応していますが、人数が少なく問題の生じる部門には、増員を図ります。23年度以降は日本画と写真に新規の審査員も加わり、PR面でも協力いただきました。
成果	入場者数が24年度は4313人、25年度4162人、26年度4226人と4000人台で安定してきました。理由の一つとして、開催日数が増えたこと、また部門別開催が浸透し、前期後期2回足を運ぶ方があったためとも考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
23年度から、部門別開催と新規審査員2名も加わりました。25年度には新規で2名加わり一新した感覚を受けました。今後も修正しながら、出品者及び鑑賞者の満足いただける安美展を目指します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	歴史ある安美展は、安城の美術文化の向上を目指しながら続けてこられました。出品者はもちろん、鑑賞者からのご意見などを取り入れながら、進化を繰り返しながら前進してきた安美展は、これからも、若い作家や新しい方向性の作品にも目を向けながら、質の高い公募展を目指し、魅力ある展示を目指したいと思います。

事務事業調書

平成27年度

事業No	737	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	市民ギャラリー講座事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 1 文化・芸術活動 2 団体及び人材の育成			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-25	
				総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画	
				関連する総合計画の施策		4-4-1-1-1	
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営		委託先				
実施期間	開始	平成15年度		経過	12年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	美術創作活動に意欲のある市民が ~になる				質の高い創作活動の機会を得ることができます。	
事務事業の内容	多くの市民に美術に親しんでもらい創作意欲を高めていただくために、市民ギャラリーで美術講座を開催します。						
改善・対策の履歴	25年度は、初心者向けの銅版画講座を開催しました。26年度からは書の講座を開設しました。27年度は七宝焼の講座を新規で開催、また9月のギャラリーコレクション展と関係した作品制作の小学生向け講座も計画しています。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,922	2,900	8,114	8,092	8,114
財源計	1,662	1,640	1,814	1,792	1,814
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	955	825	703	703
	一般財源	707	815	1,111	1,111
受益者負担金	955	825	703	958	703
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	一般向け美術講座	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	10.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	講座数(講座)	活動の総事業費 (千円)	2,039	2,158	5,664	
			活動にかかるコスト (千円)	203.90	179.83	472.00	
活動2	活動名 (活動内容)	子供向け美術講座	見込	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績	5.00	5.00	5.00	
	指標名 (単位)	講座数(講座)	活動の総事業費 (千円)	884	742	2,428	
			活動にかかるコスト (千円)	176.80	148.40	485.60	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	参加者数(人)			目標	900.00	900.00	900.00	0.00
				実績	936.00	811.00	948.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	
成果2	結果アンケート(%) 予定21年度より(%)			目標	80.00	90.00	90.00	90.00
				実績	90.00	95.00	95.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	25年度はキッズを中心に参加者数が減少気味でしたが、26年度は順調に進められ、24年度を超える参加者数へと増加しました。キッズの講座は内容により参加者のばらつきがあるので、今後もよく検討する必要があり、過去に特に人気の高かった講座については内容を変化させながら再度開催するなど工夫して進めていきます。26年度は書の講座を始めて導入し、参加者の評判も良く、今後のステップとして良い結果を生むことができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	基本的には材料費は、受益者負担として進めています。 子どもの講座では、廃材など再利用できるものを使うなど資源を有効利用しました。 一般向けの版画講座では、ウエスなど受講者から持ち寄ってもらい、新聞紙なども再利用できるものはできるだけ利用するようにし、ゴミの減量にも心がけました。
成果	昨年は811人の延べ受講者で、今年は948人と人数が増加しました。25年度と比較し版画講座の参加者の増加と、日本画講座の7回と10回の回数による延べ参加者数の変化が出ている部分があります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
従来の美術講座の方式にとらわれず、創作を通しながら、美術に親しむ機会として、気軽に創作実習室を多くの方々が利用できるような講座内容にも取り組んでほしいと思います。また小学校向けや親子での参加できる講座の検討などPRの方法も視野に入れ進めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民ギャラリーの美術講座を通し、多くの市民が創作意欲を高め、また生きがいを感じていただき、美術を愛好する仲間が集い、市民ギャラリーが新たな美術文化の発信拠点となるように進めていきたいと思っています。

事務事業調書

平成27年度

事業No	738	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	市民ギャラリー郷土作家展事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 2 鑑賞・観覧機会の充実 1 鑑賞・観覧機会の充実				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		50-25-25			
					総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無									
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成16年度		経過	11年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		芸術文化に関心のある市民が			~になる		郷土の美術作家の作品を鑑賞することができます。		
事務事業の内容	市で収蔵する美術作品を中心に地元作家を掘り下げた展示で紹介します。									
改善・対策の履歴	昨年はデザインの作家による展示で、展示の隅々までをデザインされていました。こうした展示のノウハウを糧により気を配りながら、次の開催にも応用し、市民の皆様に解りやすく展示を進めていきます。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,767	4,705	9,111	8,950	4,378
財源計	2,507	3,445	7,851	7,690	3,118
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	35	4,050	3,836	0
	一般財源	2,472	3,801	3,854	3,118
受益者負担金	35	0	50	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	郷土作家展開催	見込	27.00	12.00	25.00	26.00
			実績	27.00	11.00	25.00	
	指標名 (単位)	開催日数(日)	活動の総事業費 (千円)	3,468	4,162	7,608	
			活動にかかるコスト (千円)	128.44	378.36	304.32	
活動2	活動名 (活動内容)	広報活動	見込	600.00	600.00	600.00	600.00
			実績	600.00	600.00	600.00	
	指標名 (単位)	団体(数)	活動の総事業費 (千円)	299	543	1,342	
			活動にかかるコスト (千円)	0.50	0.91	2.24	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	観覧者数(人)			目標	2,000.00	3,000.00	3,000.00	1,500.00
				実績	3,206.00	3,240.00	1,175.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
	満足度アンケート(%)			目標	85.00	85.00	85.00	85.00
成果2				実績	88.00	87.00	92.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	市民ギャラリーとしては、初の本格的なデザインの展覧会として「廣村正彰デザインからデザインまで」を開催しました。地元出身の作家ですが、拠点の事務所を東京に持っているため、集客の部分では伸び悩みましたが、デザインを志す学生、専門のデザイナーや美術館学芸員の来場もあり、全体としては美術評論雑誌にも取り上げられるなど高い評価はいただきました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	デザイン事務所側との委託契約費は600万円でしたが、自治総合センターの助成事業として実施したため、360万円の助成金をいただきました。
成果	委託料600万円の範囲では難しい部分もありましたが、地元出身ということも配慮され、予算面ではかなり前向きに事務所側は考えていただきました。 また、PR面でも広く協力いただき、東京からも来場者がありました。 ワークショップと関連して、安祥文化のさとのロゴマークも公募し、選定いただくなど広がりのある展開を図ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地元作家でも優れた作品を残してきた事実を紹介することは意義のあることで、今後も調査しながら紹介できる企画展を進めていきます。特に物故作家は、作家の周辺の協力が必要で地道な調査が大切だと思われます。26年度は安城出身のデザイナー廣村氏の仕事の紹介ということで新たなジャンルに取り組み、やや入館者は少なかったが、来場者や専門家には高い評価はいただきました。27年度は、地元在住のパステル画家の作品の紹介ということで、PRには工夫しながら進めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	郷土の作家を広く市民に紹介します。作品はもとより、作品制作の背景など、掘り下げながら充実した展示を提供し、作品鑑賞の楽しさを感じていただきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	739	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	市民ギャラリーコレクション展事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 2 鑑賞・観覧機会の充実 1 鑑賞・観覧機会の充実			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-25	
				総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無						
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営		委託先				
実施期間	開始	平成16年度		経過	11年目	終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	芸術文化に関心のある市民が			~になる	市で収蔵する郷土の美術作家の作品鑑賞する機会を得ます。	
事務事業の内容	地元作家を中心に、市で収蔵する美術作品をテーマをもちながら、展示開催します。小規模な展示ですが、幅広く作家や作品を紹介します。						
改善・対策の履歴	夏季の展示では子どもたちにも親しみやすいように作品の高さなどに配慮しました。作品解説でも、理解しやすいよう表現に配慮しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,368	1,773	2,042	1,748	6,429
財源計	1,108	1,143	1,412	1,118	2,334
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,108	1,143	1,412	1,118
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	4,095 (0.65)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	コレクション展開催	見込	25.00	25.00	21.00	21.00
			実績	25.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	開催日数(日)	活動の総事業費(千円)	1,894	1,241	1,223	
			活動にかかるコスト(千円)	75.76	59.10	58.24	
活動2	活動名 (活動内容)	広報活動	見込	900.00	900.00	928.00	928.00
			実績	898.00	928.00	928.00	
	指標名 (単位)	団体数(団体)	活動の総事業費(千円)	474	532	525	
			活動にかかるコスト(千円)	0.53	0.57	0.57	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	観覧者数(人)			目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
				実績	2,083.00	2,189.00	2,025.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
	満足度アンケート(%)			目標	85.00	85.00	85.00	85.00
成果2				実績	88.00	88.00	80.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	26年度の市民ギャラリーコレクション展事業は、6月から7月は「木に潜む造形の力」、9月から10月は「色彩ただよう情景」一心に残る風景ーを開催し、地元及び本市ゆかりの作家の価値ある作品を展示し、多くの市民に観覧いただきました。「木に潜む造形の力」では木を使った作品や木をテーマにした作品等、木に関わる作品を集めた展示で開催しました。「色彩ただよう情景」展においては、市内小中学生による「心に残る風景」をテーマとした絵画を併設展示しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市内、全小中学校からの出品があることから、各小中学校児童生徒のチラシを学校を通して送付し、発送料の部分のコストをかけずにPRできました。 夏の企画ではスタンプラリーを取り入れコストをかけずに入場者の増加につなげることができました。
成果	「色彩ただよう情景」展では安祥文化のさとまつりにおいて、スタンプラリーの導入で、1,024人と多くの入場者がありました。 また、ご家族づれでの来場者が多くありました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
収蔵品との関係でテーマの選定に苦慮する部分ではありますが、親しみやすく広がりのあるテーマを設定していきます。 PRの工夫と、鑑賞者を配慮した展示の展開を図っていきます。 27年度は「生誕百年福山すずむ」展の開催で、文化協会や地元の美術関係者は関わりのある方が多いと思われますが、PRを広く進め、若い世代にも関心いただけるように来場者増を目指します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民ギャラリーコレクション展では、市で収蔵する美術作品を幅広く市民に紹介していくが、鑑賞者のニーズなども取り入れながら、満足いただけるような展示を進めていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	762	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	峯村敏
						決裁者	牧浩之
事務事業名	国所蔵美術品展示事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 2 鑑賞・観覧機会の充実 1 鑑賞・観覧機会の充実			予算科目(会計)		一般会計						
				予算科目(款・項・目)		50-25-25						
				総合計画以外の計画		第2次生涯学習推進計画						
				関連する総合計画の施策								
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの							
根拠法令	無											
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	無											
陳情・市民要望	無											
実施方法	直営		委託先									
実施期間	開始	平成17年度		経過	10年目		終了	平成27年度		期間	11年	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		芸術文化に関心のある市民が				~になる		国の所有する優れた美術作品を身近に鑑賞することができます。			
事務事業の内容	文化庁が実施する「美術作品出合いの広場」事業を活用して、国が所蔵する美術品を借用し、市民ギャラリーに展示します。この継続事業は、26年度で終了とし、27年度には26年度作品の返却作業のみとします。											
改善・対策の履歴	借用作品は、貴重な作品で退色の心配から約18日おきに展示し、説明パネルを設置し、市民ギャラリー入館者にわかりやすく展示しました。26年度は、日本画と油彩画で、日本画は子供の遊ぶ様子を描いたもので、油彩画は写真のようにリアルな水面と葉を描いた作品でした。これまで文化庁所蔵の作品を1年借用しエントランスで展示してまいりましたが、市の所蔵作品も増加してきましたので、これらを今後展示しご覧頂くことにいたします。											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	589	617	782	629	673
財源計	274	302	467	314	358
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	274	467	314	358
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)	315 (0.05)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	年間の展示替え	見込	8.00	8.00	8.00	0.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	589	617	629	
			活動にかかるコスト(千円)	73.63	77.13	78.63	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民ギャラリーを利用する鑑賞者(人)			目標	21,000.00	21,000.00	22,000.00	0.00
				実績	22,000.00	30,251.00	29,229.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	市民ギャラリーには、様々な分野の利用者が来館するため、できるだけ偏りの無い展示を考えて行きたい。またギャラリーの顔である、エントランスにおける展示のため、質の高い作品をご覧いただきました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	17年度は1点の作品であったが、19年度からは2点の作品を借用し、1年間をローテーションを組み合わせながら展示しました。21年以降いずれも大作で、職員2人で展示替えを行い、26年度も職員2人で展示替えを行いました。なお借用返却に際し、文化庁所蔵の優秀作品を身近に見られる貴重な機会であることが、この事業の有用性とも考えられます。
成果	国の所蔵する美術品を貸し出す事業に参加することで、広く市民に本格的な美術作品を鑑賞いただく機会を与えることができます。最近では文化庁も貸し出しをする機会が多く望む作品が借用できない場合もありますが、調整しながら進めてきました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
高価な作品を購入することが、難しい今日、借用することが考えられるが、国の所有する作品を1年間貸し出す事業により、著名な作家の作品を身近に見ることができました。現在文化庁は新規の作品を購入する事業は進めていません。10年間借用の事業に関わり、サイズの問題もありますが、ほぼ全般的に借用してきました。有益な事業だと思いますが、運搬経費と保険の部分での費用は借用側にかかる部分でもあり、10年を迎え内容の検討を進めた結果、今後収蔵品で対応する方向で考えます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	文化庁の事業として美術作品を広く公共の場へ借用するこの事業は、高価な美術品を購入することが難しい施設には、有意義な事業です。文化庁所蔵の作品であり、質の高い美術作品を身近に見ることができ、多くの市民の方々に美術文化に興味をもってもらい、市民ギャラリーとしての質の向上にもつながります。10年この事業を続けましたが、ギャラリーとしての収蔵品も増加してきたことからこの作品の利用も考え、今後収蔵品で対応していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	740	課	文化振興課	係	芸術文化係	起案者	岩井友哉
						決裁者	牧浩之
事務事業名	市民会館文化鑑賞事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 1 文化振興 2 鑑賞・観覧機会の充実 1 鑑賞・観覧機会の充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-25			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策					
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	無								
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	昭和47年度		経過	43年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		芸術に親しむ市民が			~になる		良質な舞台芸術等の鑑賞機会を得ることができます。	
事務事業の内容	良質な文化を身近で鑑賞できるように、市民会館で公演事業を開催します。								
改善・対策の履歴	講演会については、文化センターホールとのすみわけのため平成2年から開催していません。近年近隣市に音響の整った施設がオープンしたので、クラシックからポップスなどに移行してきましたが、本市から著名な世界的ピアニストを2名も輩出していることもあり、24年度は、田村響氏と新日本フィルオーケストラによる演奏会を開催しました。25年度は、宝くじ文化振興財団の助成を受けて新美南吉童話を題材とする演劇公演を実施しました。26年度はホールでの公演前に市内小学校に出前演奏・授業を行うアウトリーチ事業を開催しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	36,576	36,807	32,901	26,865	19,537
財源計	25,236	26,097	23,136	17,100	13,237
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	11,003	22,928	13,600	11,087
	一般財源	14,233	3,169	9,536	6,013
受益者負担金	11,003	22,928	13,600	11,087	8,736
職員人件費 (従事職員数)	11,340 (1.80)	10,710 (1.70)	9,765 (1.55)	9,765 (1.55)	6,300 (1.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	公演事業の開催	見込	6.00	7.00	6.00	2.00
			実績	7.00	7.00	6.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	31,703	31,689	20,585	
			活動にかかるコスト (千円)	4,529.00	4,527.00	3,430.83	
活動2	活動名 (活動内容)	公演事業の啓発(広報、新聞社、幼稚園宛て等)	見込	6.00	7.00	6.00	2.00
			実績	7.00	7.00	7.00	
	指標名 (単位)	啓発回数(回)	活動の総事業費 (千円)	4,873	5,118	6,280	
			活動にかかるコスト (千円)	696.14	731.14	897.14	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	入場者数(人)			目標	5,800.00	7,680.00	4,085.00	2,880.00
				実績	6,002.00	8,239.00	3,923.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
成果2	参観者によるアンケートの満足度(%)			目標	80.00	80.00	80.00	80.00
				実績	90.00	93.00	84.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	平成25年度は南吉生誕記念に合わせ童話を題材とした演劇、知名度の高いバンド、アニソン歌手コンサートなど、新ジャンルにも挑戦し、年度後半の入場率は非常に高くなりました。一方で吹奏楽、恒例となった落語も多数の市民に見ていただきました。平成26年度は市民会館改修工事の影響で一部事業を文化センターで実施しました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・単位コストには、入場料収入が考慮されていないが、実際の単位コストは収入を増やすことにより削減につながるのにより多くの入場者を確保するように努めました。 ・公演内容によって啓発先を工夫することで、集客増に努めました。 ・過去に催しの通知を希望された方にダイレクトメールを発送していましたが、発送枚数の割に反応が少ないため、年度後半より中止しました。
成果	アンケートによる満足度ともに目標値を達成しましたが、入場者数はわずかに達成できませんでした。アンケートによる満足度は高いことから引き続き幅広い公演の開催に努めます。26年度有料公演の平均販売率は79.4%、平均入場者率は77.55%となり、アンケートによる満足度は6事業の平均で84.5%と引き続き高い数値を保つことが出来ました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
公演ジャンルによって客層は大きく変わると思われるので、啓発先については来場者アンケートを参考にするなどしてより層の工夫をしていきます。 入場者の確保はもとより、補助金や助成金制度を活用した他の財源確保についても進めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	本事業は、文化振興に関する事業であり、芸術に親しむ市民が良質な文化を身近で鑑賞できる機会として、市が実施すべきものと考えます。入場者数、アンケート満足度はともに目標を達成しており、継続して実施します。本年度は、知名度の高いアーティストのコンサート、安城市吹奏楽フェスティバル第22回演奏会、子ども向け歌謡ショー、中高年者向けの落語など6事業を予定しています。